

# 再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課  
担当課長名：深澤 淳志

事業名	国道138号 御殿場バイパス（西工区）		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	自：静岡県御殿場市水土野 至：静岡県御殿場市萩原				延長	4.3 km
事業概要						
国道138号御殿場バイパス（西工区）は、東富士五湖道路、須走道路と一体となって、東名高速、新東名高速及び中央自動車道と連結し、高速ネットワークを構築する主要幹線道路で、国道138号における交通混雑の緩和を図るとともに、観光支援による地域活性化にも大きな役割を果たす事業である。						
H11年度事業化	H6年度都市計画決定	H15年度用地着手	年度工事着手			
全体事業費	約190億円	事業進捗率	6%	供用済延長	0.0 km	
計画交通量	17,600台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.8 (残事業) 3.0	総費用 (残事業)/ (事業全体) 136/145億円 事業費：127/136億円 維持管理費：9.2/9.2億円	総便益 (残事業)/ (事業全体) 405/405億円 走行時間短縮便益：392/392億円 走行費用減少便益：10/10億円 交通事故減少便益：3.2/3.2億円	基準年 平成20年		
感度分析の結果(※2) 残事業について感度分析を実施						
交通量変動 : B/C=3.4 (交通量+10%) B/C=2.7 (交通量-10%)						
事業費変動 : B/C=2.7 (事業費+10%) B/C=3.3 (事業費-10%)						
事業の効果等(※3)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>円滑なモビリティの確保（交通渋滞の緩和）</li> <li>個性ある地域の形成（観光地へのアクセス向上）</li> <li>国土・地域ネットワークの構築（国土・地域ネットワークの構築）</li> </ul> <p style="text-align: right;">他12項目に該当</p>						
関係する地方公共団体等の意見						
御殿場バイパスは、物流・観光交通の支援、地域間交流の促進、交通混雑の緩和及び沿道環境の改善に重要な役割を果たすことが期待されており、「東名・中央連絡道路建設促進期成同盟会」及び「環富士山火山防災連絡会」よりバイパスの早期整備の要望を受けている						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等						
<ul style="list-style-type: none"> <li>国道138号は、物流、観光交通の集中と生活交通が混在し、著しい交通渋滞により幹線道路機能が低下</li> <li>御殿場地域には、年間1,800万人の観光客が来訪し、大型ショッピングモールが開業して以来、来訪者は増加傾向</li> </ul>						
事業の進捗状況、残事業の内容等						
<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和55年度、ぐみ沢上～萩原北交差点暫定2車線供用済み</li> <li>水土野IC～萩原北交差点について、測量・設計を実施中</li> </ul>						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等						
平成30年度前半、水土野IC～萩原北交差点完成4車線（一部暫定2車線）供用予定						
施設の構造や工法の変更等						
現在、詳細な地形測量及び地質調査を実施中であり、今後、設計を進めていく中で、コスト縮減に努める						
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。